

阪急で行く「京都ゆかた割」特別イベント

感じる

仏の世界

～シンセサイザーライブ・トークセッション～

阪急で行く「京都ゆかた割」特別イベントを開催します。京都・嵐山の愛宕念仏寺、西村公栄住職によるシンセサイザーライブが、仏の世界へと誘います。音楽で仏の世界を感じた後は、各方面で活躍中の仏像ガールをゲストに招いてのトークセッションと盛りだくさん。千二百羅漢に囲まれて、仏を身近に感じられること間違いなし!?是非ご参加ください!!



ゆかた着用でのご参加が条件となります。
ご了承ください。

日時	平成22年7月30日(金)14:00-16:00(雨天決行)
会場	愛宕念仏寺(右京区嵯峨鳥居本深谷町2-5)
受付	阪急嵐山駅前(受付は午後1時から)。受付後、会場までバスでご案内します。
定員	150名 (応募多数の場合は抽選のうえ、参加証を発送します。)
参加費	1,000円(往復バス代、拝観料込)当日お支払いください
申し込み	Eメール本文中に、郵便番号・住所・氏名・電話番号・参加人数(最大4名)を明記の上、 yukata-wari@mb.kyoto-np.co.jp へ7月25日(日)までにお送りください。 ※お送りいただいた個人情報については、イベントに関する目的以外には使用いたしません。
問い合わせ	阪急電鉄交通ご案内センター 0570-089-500 06-6133-3473 (平日9:00~22:00/土・日曜・祝日9:00~19:00)

当日、会場にて阪急キッチンエールよりお茶菓子が提供されます。

阪急キッチンエール

今回出演のおふたりにトークセッションへのおもいを語ってもらいました。

西村公栄住職



プロフィール

西村公栄(にしむら こうえい)

京都嵯峨野 愛宕念仏寺住職。昭和30年、仏像彫刻家・西村公朝の次男として生まれる。宗教者の布教活動であることを基本としつつ、これまで永年にわたり、シンセサイザーによる作曲演奏活動を行う。自身の宗教観を素材とした「仏の世界サウンド」という、独自の音楽スタイルの道を築き、NHKをはじめ多方面から制作依頼も多く、称賛を博している。「芸術家の血」を活かしたヒーリングアーティストとしての顔も併せ持つ。ヒーリング・ミュージックが大半を占める中、最近のアルバムはテクノ・ポップなダンシング・ミュージックが中心となっている。今年2月にはベスト・アンビエント・アルバム「The TIMELINE」を発表。新ジャンル「トランス・ヒーリング」では、ダンスミュージックとセラピー音楽の融合による新境地を見出す。

仏像ガールさんと当山でお話しさせていただけるという、誠に有り難い御縁を授かりましたことに、心から感謝いたします。先代住職の西村公朝は、仏像彫刻家として、人生の全てを仏像に捧げた人でした。その生涯のテーマは「ほとけとは何か…」を説くことでした。仏像は日本文化の象徴であり「日本人の魂のふるさと」であります。今、この現代に仏像ガールなるものが出現した意味とは何か…。その答えが、きっとこの日に明かされることでしょう。

仏像ガール



プロフィール

仏像ガール・仏像ナビゲーター。上智大学 比較文化学部卒。2009年7月、奈良国立博物館文化大使に就任。中学生のときの父の死がきっかけで仏教に興味を持ち、大学で仏教美術を学ぶ。大切な日本の宝である仏像を、もっと多くの人に楽しんでもらいたいという一心で、仏像に人生を捧げ、2007年5月から仏像ガールとして活動をはじめ。トークショー、コラム執筆や、テレビ・ラジオなどメディア出演多数の機会を獲って、新たな仏像との出会いを求めて日本全国の旅を続けている。著書に「でかける・感じる・きつと出会える 仏像の旅」(山と溪谷社)、「感じる・調べる・もっと近づく 仏像の本」(山と溪谷社)がある。

愛宕念仏寺さんは、長い間憧れのお寺でした。先代住職の西村公朝先生のやさしい言葉で、仏さまの世界へ誘われた方は私だけでなく、日本中にたくさんいらっしゃるはず。そんな愛宕念仏寺で、公朝先生のご子息である西村公栄ご住職と仏像のお話をできるなんて夢のようです。公朝さん、公栄さん共に人々の想いや気持ちを大切にされる優しいお方なので、仏さまと人の心に触れられるようなあたたかい時間になりそうです。